

平成23年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	大分県	市町村類型	II-1	指定団体等の指定状況				区分		平成23年度(千円)	平成22年度(千円)	区分		平成23年度(千円・%)	平成22年度(千円・%)
				財政健全化等	×	歳入総額	43,653,292	45,607,671	実質収支比率	2.0	2.9				
市町村名	佐伯市	地方交付税種地	1-2	財源超過	×	歳入歳出差引	718,225	938,979	経常収支比率	90.4	88.8				
				首都	×	翌年度に繰越すべき財源	158,392	121,856	(※1)	(96.1)	(96.4)				
				近畿	×	実質収支	559,833	817,123	標準財政規模	28,137,823	28,099,446				
				中部	×	単年度収支	-257,290	51,127	財政力指数	0.32	0.33				
人口	22年国調(人)	76,951	産業構造(※5)		過疎	○	積立金	410,837	389,049	公債費負担比率	26.7	25.5			
	17年国調(人)	80,297	区分	22年国調	17年国調	山振	○	繰上償還金	487,328	539,752	健全化判断比率	-	-		
	増減率(%)	-4.2	第1次	3,106	3,938	低開発	○	積立金取崩し額	-	-	実質赤字比率	-	-		
住民基本台帳人口	24.03.31(人)	78,392	第1次	9.4	11.0	指数表選定	○	実質単年度収支	640,875	979,928	連結実質赤字比率	-	-		
	23.03.31(人)	79,249		9.231	10.190	基準財政収入額	6,502,603	6,463,207	実質公債費比率	12.9	13.2				
	増減率(%)	-1.1	第2次	28.0	28.5	基準財政需要額	20,543,759	20,281,078	将来負担比率	35.4	59.8				
面積(km ²)	903.53		第3次	20,640	21,465	標準税収収入額等	8,328,473	8,259,039	資金不足比率(※4)			-	-		
人口密度(人/km ²)	85			62.6	60.1	経常経費充当一般財源等	25,561,213	25,167,234				-	-		
世帯数(世帯)	30,511					歳入一般財源等	31,682,251	32,931,591				-	-		
職員の状況															
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	61,600,352	65,029,312					
	市区町村長	1	7,480	一般職員	849	2,863,677	3,373	うち公的資金	47,637,212	50,112,901					
	副市区町村長	2	6,444	うち消防職員	121	375,100	3,100	債務負担行為額(支出予定額)	8,872,294	4,219,271					
	教育長	1	5,517	うち技能労務職員	-	-	-	収益事業収入	-	-					
	議会議長	1	4,340	教育公務員	34	115,285	3,391	土地開発基金現在高	1,612,619	1,609,307					
	議会副議長	1	3,910	臨時職員	-	-	-	積立金現在高	5,255,928	4,845,091					
	議会議員	28	3,680	合計	883	2,978,962	3,374	減債基金	5,911,038	4,728,811					
					ラスパイレース指数(※6)	107.7	(99.5)	その他特定目的基金	9,159,511	9,151,803					
	一般会計等の一覧														
	項番	会計名	事業会計の一覧			公営企業(法適)の一覧			公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧		
(1)	一般会計	(4)	国民健康保険事業会計(事業勘定)	(9)	水道事業会計	(11)	簡易水道事業会計	(19)	大分県消防補償等組合	(24)	佐伯市勤労者福祉協会	(※3)			
(2)	飲料水供給事業会計	(5)	国民健康保険事業会計(直診勘定)	(10)	公共下水道事業会計	(12)	特定環境保全公共下水道事業会計	(20)	大分県交通災害共済組合	(25)	佐伯市土地開発公社	○			
(3)	土地区画整理事業会計	(6)	介護保険事業会計(保険事業勘定)	(13)	農業集落排水事業会計	(14)	漁業集落排水事業会計	(21)	大分県市町村会館管理組合	(26)	番匠川親水環境整備協会				
		(7)	介護保険事業会計(介護サービス事業勘定)	(15)	小規模集排水処理事業会計	(16)	特定地域生活排水処理事業会計	(22)	大分県後期高齢者医療広域連合(普通会計)	(27)	道の駅やよい				
		(8)	後期高齢者医療事業会計	(17)	交通事業(船舶)会計	(18)	市場事業会計	(23)	大分県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療事業会計)	(28)	さいき農林公社				
										(29)	うめ				
										(30)	佐伯市蒲江栽培漁業				
										(31)	きらり				
										(32)	かまえ町総合物産サービス				
										(33)	まちづくり佐伯				

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補償債(特別分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補償等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6: ラスパイレース指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	7,401,583	17.0	7,108,975	26.7	普通税	7,108,975	96.0	71,677
地方譲与税	382,432	0.9	382,432	1.4	法定普通税	7,108,975	96.0	71,677
利子割交付金	17,664	0.0	17,664	0.1	市町村民税	2,995,299	40.5	71,677
配当割交付金	8,162	0.0	8,162	0.0	個人均等割	95,398	1.3	-
株式等譲渡所得割交付金	1,837	0.0	1,837	0.0	所得割	2,281,765	30.8	-
地方消費税交付金	726,194	1.7	726,194	2.7	法人均等割	179,095	2.4	-
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割	439,041	5.9	71,677
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	3,425,753	46.3	-
自動車取得税交付金	58,532	0.1	58,532	0.2	うち純固定資産税	3,388,562	45.8	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	178,071	2.4	-
地方特例交付金	116,154	0.3	116,154	0.4	市町村たばこ税	509,746	6.9	-
児童手当及び子ども手当特例交付金	68,670	0.2	68,670	0.3	釧路税	106	0.0	-
減収補填特例交付金	47,484	0.1	47,484	0.2	特別土地保有税	-	-	-
地方交付税	19,638,353	45.0	18,134,373	68.2	法定外普通税	-	-	-
普通交付税	18,134,373	41.5	18,134,373	68.2	目的税	292,608	4.0	-
特別交付税	1,503,972	3.4	-	-	法定目的税	292,608	4.0	-
震災復興特別交付税	8	0.0	-	-	入湯税	-	-	-
(一般財源計)	28,350,911	64.9	26,554,323	99.9	事業所税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	12,702	0.0	12,702	0.0	都市計画税	292,608	4.0	-
分担金・負担金	224,909	0.5	-	-	水利地益税等	-	-	-
使用料	718,418	1.6	15,589	0.1	法定外目的税	-	-	-
手数料	232,963	0.5	-	-	旧法による税	-	-	-
国庫支出金	5,299,342	12.1	-	-	合計	7,401,583	100.0	71,677
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-				
都道府県支出金	2,899,572	6.6	-	-				
財産収入	71,308	0.2	-	-				
寄附金	11,190	0.0	-	-				
繰入金	26,909	0.1	-	-				
繰越金	938,979	2.2	-	-				
諸収入	526,212	1.2	3,514	0.0				
地方債	4,339,877	9.9	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	1,674,977	3.8	-	-				
歳入合計	43,653,292	100.0	26,586,128	100.0				

区分		平成23年度		平成22年度	
徴収率	現・計	98.0	90.9	97.8	90.5
(%)	年・計	97.7	90.3	97.5	90.5
		98.0	90.3	97.7	89.6

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	5,009,067	実質収支	8,928
下水道	1,304,972	再差引収支	-207,858
簡易水道	225,794	加入世帯数(世帯)	14,546
上水道	24,408	被保険者数(人)	25,380
交通	14,486	被保険者	90
国民健康保険	951,083	1人当り	114
その他	2,488,324	保険税(料)収入額	295
		国庫支出金	114
		保険給付費	295

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳入の状況(単位:千円・%)					
目的別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	376,300	0.9	-	376,300	
総務費	5,772,152	13.4	167,036	5,104,853	
民生費	11,657,432	27.2	129,667	6,096,881	
衛生費	2,871,381	6.7	170,066	2,318,458	
労働費	404,488	0.9	-	28,182	
農林水産業費	2,714,964	6.3	1,136,170	1,589,034	
商工費	790,807	1.8	67,373	580,018	
土木費	3,680,707	8.6	1,785,242	2,283,896	
消防費	1,755,506	4.1	530,233	1,269,071	
教育費	4,079,139	9.5	1,435,870	2,779,743	
災害復旧費	92,745	0.2	-	64,770	
公債費	8,724,960	20.3	-	8,458,406	
諸支出費	14,486	0.0	-	14,486	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	42,935,067	100.0	5,421,657	30,964,098	

性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	23,832,574	55.5	18,525,881	17,194,555	60.8
人件費	8,450,129	19.7	8,196,446	7,392,041	26.2
うち職員給	5,522,694	12.9	5,335,738	-	-
扶助費	6,657,485	15.5	1,871,029	1,861,436	6.6
公債費	8,724,960	20.3	8,458,406	7,941,078	28.1
元利償還金	8,724,935	20.3	8,458,381	7,941,053	28.1
内 うち元金	7,768,837	18.1	7,563,348	7,046,020	24.9
訳 うち利子	956,098	2.2	895,033	895,033	3.2
一時借入金利子	25	0.0	25	25	0.0
その他の経費	13,588,091	31.6	10,840,966	8,366,658	29.6
物件費	5,225,679	12.2	3,668,012	3,495,326	12.4
維持補修費	336,047	0.8	310,754	310,754	1.1
補助費等	1,692,975	3.9	1,321,247	1,120,848	4.0
うち一部事務組合負担金	99,835	0.2	99,835	49,916	0.2
繰出金	4,297,400	10.0	3,717,332	3,438,730	12.2
積立金	1,602,918	3.7	1,590,621	-	-
投資・出資金・貸付金	433,072	1.0	233,000	1,000	0.0
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	5,514,402	12.8	1,597,251	-	-
うち人件費	80,680	0.2	47,510	-	-
内 普通建設事業費	5,421,657	12.6	1,532,481	-	-
うち補助	2,468,116	5.7	153,088	-	-
うち単独	2,689,780	6.3	1,351,433	-	-
災害復旧事業費	92,745	0.2	64,770	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	42,935,067	100.0	30,964,098	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成23年度 大分県佐伯市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

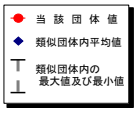
会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	43,641	42,923	718	560	18	60,684	
2 飲料水供給事業会計	42	42	-	-	-	243	
3 土地区画整理事業会計	59	59	-	-	-	673	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	78,392人	(H24.3.31現在)
面積	903.53km ²	
人口密度	43,653.292	千円
実収支	42,935,067	千円
実収支	559,833	千円
標準財政規模	28,137,823	千円
地方債現在高	61,600,352	千円

実収支赤字比率	- %
実収支公債費比率	12.9 %
将来負担比率	35.4 %

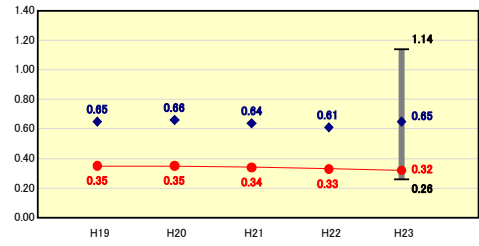
市町村年度	H19	H20	H21	H22	H23
類型	Ⅱ-1	Ⅱ-1	Ⅱ-1	Ⅱ-1	Ⅱ-1



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実収支公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力 財政力指数 [0.32]

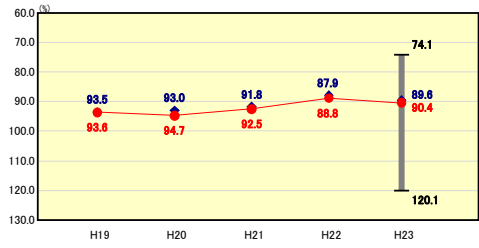
類似団体内順位 190/195 全国平均 0.51 大分県平均 0.39



財政力指数の分析欄
 人口の減少や市内に中心となる産業がないことなどにより、主たる自主財源である税収が乏しく、また広大な市域を抱えていることにより行政経費が高くなるなど、財政基盤が弱く、類似団体をかなり下回っている。投資的経費の抑制、定員管理、給与の適正化、組織機構の見直し等、行政改革推進プランに沿った歳入の削減を行い、また自主財源の根幹をなす市税の徴収強化等を中心とする歳入確保に努め財政の健全化を図る。

財政構造の弾力性 経常収支比率 [90.4%]

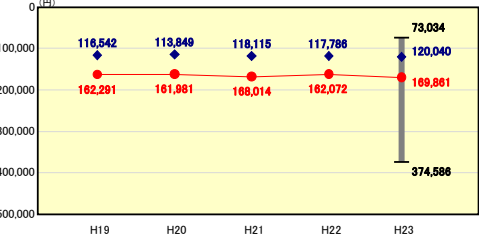
類似団体内順位 107/195 全国平均 90.3 大分県平均 90.6



経常収支比率の分析欄
 公債費及び人件費が主たる要因となり、類似団体平均を上回っている。類似団体に比べ市債債務を多く有していること、借入金の償還ピークがH27になること、高齢化等の扶助費の増大等義務的経費が増加傾向にあることを踏まえ、行政改革推進プランに沿った投資的経費削減による新発債の抑制、定員管理、給与の適正化、組織機構の見直し等の歳入削減と償還ピークを緩和する繰上償還(H23実績 約517百万円)を積極的にい財政の健全化に努める。

人件費・物件費等の状況 人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [169,861円]

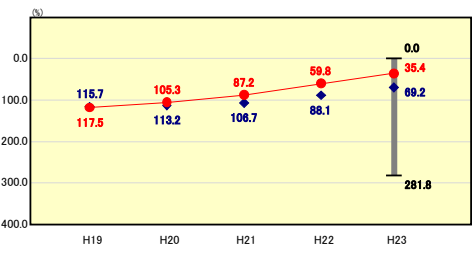
類似団体内順位 181/195 全国平均 119,477 大分県平均 126,130



人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 人口1人当たりの人件費・物件費等の金額が類似団体平均を大幅に上回っているのは、主に人件費が要因となっている。これは、広大な市域を抱えることや1市8町村で合併したことにより類似団体に比べ職員数が多いためである。この事は、合併協議段階より懸念されていたことであり、合併協議の中で定められた「定員適正化10ヶ年計画」に基づき行政改革推進プラン(第1期プランH17~H21 第2期プランH22~H26)において定員管理、給与の適正化等の総人件費の抑制に取り組んでいる。

将来負担の状況 将来負担比率 [35.4%]

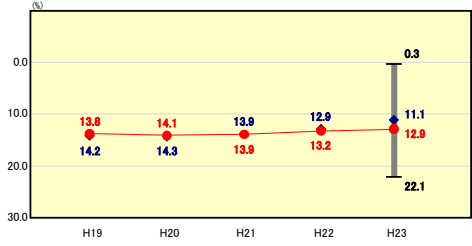
類似団体内順位 60/195 全国平均 69.2 大分県平均 42.9



将来負担比率の分析欄
 借入利率の高い地方債の繰上償還による地方債現在高及び公営企業債等の繰入見込額の減、財政調整基金及び減債基金の積立による充当可能基金の増額等により類似団体平均を下回っている。今後も公債費等義務的経費の削減を中心とする行政改革を進め、財政の健全化に努める。

公債費負担の状況 実収支公債費比率 [12.9%]

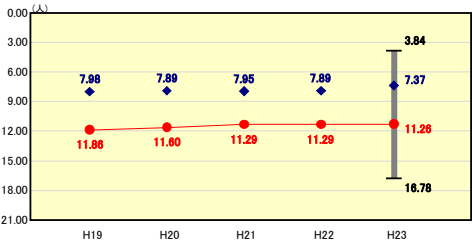
類似団体内順位 135/195 全国平均 9.9 大分県平均 8.8



実収支公債費比率の分析欄
 類似団体を上回っており、今後予定されている事業計画の整理・縮小を図るなど、起債依存型の事業実施を見直し、類似団体平均である11.1%まで低下させる。

定員管理の状況 人口千人当たり職員数 [11.26人]

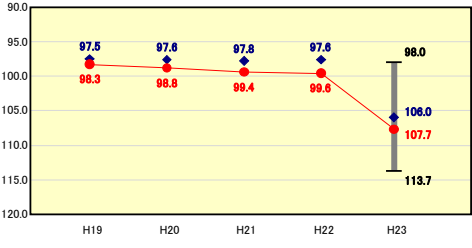
類似団体内順位 185/195 全国平均 7.17 大分県平均 8.39



人口千人当たり職員数の分析欄
 広大な市域を抱えていることや地区住民の高齢化等、人口や面積等だけで単純に比較できない要素はあるが、全国平均及び県内平均を大きく上回り、類似団体内でも下位となっている。市町村合併以降の行政改革推進プランに基づき、合併により肥大化した組織のスリム化に取り組んでおり、H25当初の職員数は行革プランの目標を上回るペースで削減が進んでいる。今後も行政区域の広狭及び行政需要の変化を勘案した組織機構の見直し、民間委託、採用の抑制を行いながら行政の効率化を図り職員数の削減に努める。

給与水準 (国との比較) ラスパイレス指数 [107.7]

類似団体内順位 145/195 全国市平均 106.9 全国町村平均 103.3



ラスパイレス指数の分析欄
 年功的な体系になっており、級別構成が上位級の割合が増加していること、特別昇給により、ラスパイレス指数が上昇し類似団体平均を1.7ポイント上回っている。現在は職員の給料カット(5%)によりラスパイレス指数が下がっているが、今後は級別構成の見直しを図り、給料カットを行わずにラスパイレス指数が他団体並になるよう給料の適正化に努めていきたい。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

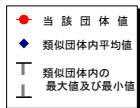
大分県佐伯市

経常収支比率の分析

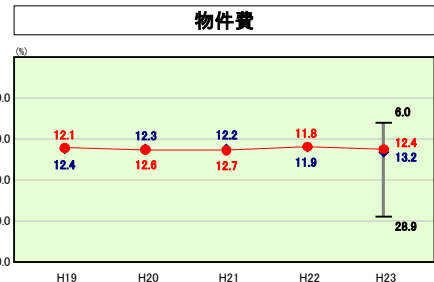
人口	78,392 人 (H24.3.31現在)
面積	903.53 km ²
人口密度	43,653,292 千円
総収入	42,935,067 千円
総支出	559,833 千円
標準財政規模	28,137,823 千円
地方債現在高	61,600,352 千円

実収率	- %
実支率	- %
実収率	12.9 %
実支率	35.4 %

市町村年度	H19	H20	H21	H22	H23
類型	Ⅱ-1	Ⅱ-1	Ⅱ-1	Ⅱ-1	Ⅱ-1

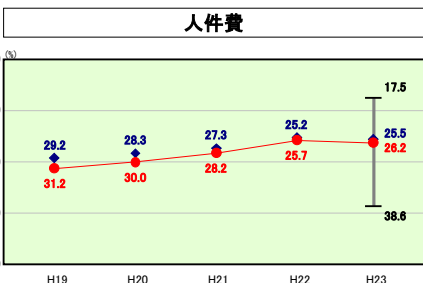


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



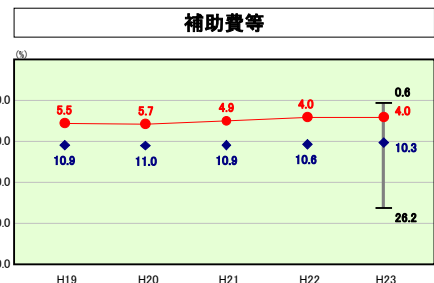
類似団体内順位 79/195 全国平均 13.1 大分県平均 11.3

物件費の分析欄
物件費に係る経常収支比率は、類似団体平均並みとなっている。平成20、21年度の数値が類似団体平均を上回っている要因は、情報システムの再構築業務に伴う委託料の一時的な増加によるものである。今後は、施設の統廃合等により事務の効率化を行い、経費の削減に努める。



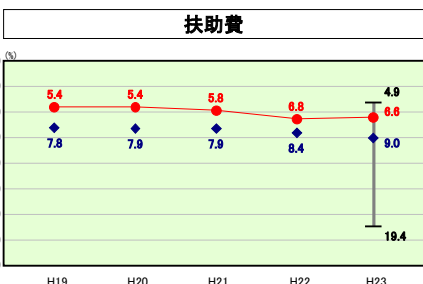
類似団体内順位 120/195 全国平均 25.4 大分県平均 29.2

人件費の分析欄
広大な市域を抱えることや1市8町村で合併したことにより類似団体に比べ職員数が多いために、人件費に係る経常収支比率が類似団体平均よりも高くなっている。行政改革推進プランに沿った定員管理(H17.4総職員数1,233人 → H27.4総職員数920人(普通会計800人、特別会計120人))に基づく職員数の削減、給与カット(一般職5%、特別職10%~15%)、各種手当の見直し等(管理職手当20%カット等)による総人件費の抑制により類似団体平均値との差が年々縮まっているが、依然高い水準であるため組織機構の見直し、業務の見直し及び集約化、業務の民間委託、施設の統廃合等を行い定員管理の適正化に努める。



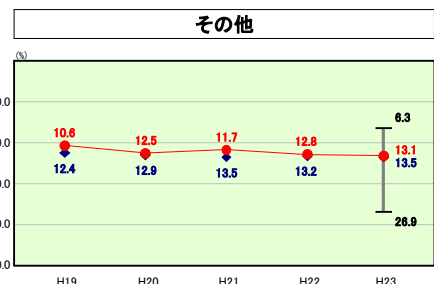
類似団体内順位 19/195 全国平均 10.1 大分県平均 5.7

補助費等の分析欄
補助費等に係る経常収支比率は、類似団体平均に比べて下回っており、第2期行政改革推進プランに掲げている補助金等の見直しの成果が現われている。しかしながら、合併時のそれぞれの地域事情等により未調整の補助金等もあるため、今後も、行政サービスの公平性、公益性及び透明性、費用対効果の観点から、見直しが必要な補助金については是正していく。



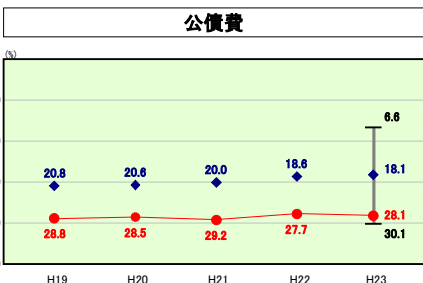
類似団体内順位 25/195 全国平均 10.5 大分県平均 9.7

扶助費の分析欄
扶助費に係る経常収支比率は類似団体平均を下回っているが、生活保護費の負担が大きい、資格審査等の適正化、就労支援、医療扶助抑制のためのレセプト点検の強化、ジェネリック医薬品の活用などにより扶助費の抑制に努める。



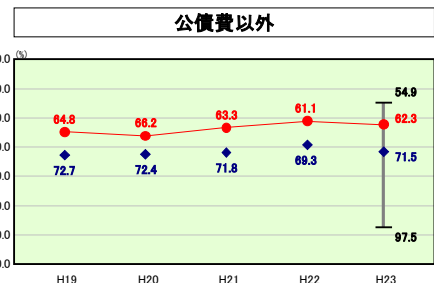
類似団体内順位 95/195 全国平均 12.2 大分県平均 13.3

その他の分析欄
その他に係る経常収支比率は、類似団体平均を下回っているが、繰出金が増加傾向にある。この要因は、国民健康保険事業、後期高齢者医療事業、介護保険事業の給付費増加に伴う繰出金の増加である。また市が保有する施設の老朽化に伴う維持補修費も、増加傾向にある。今後は、繰出金については、保険料(保険料)の適正化を図ることにより普通会計の負担額を減らすよう努め、維持補修費については、計画的に執行することにより経費の平準化を図り、財政負担の軽減を図る。



類似団体内順位 191/195 全国平均 19.0 大分県平均 21.4

公債費の分析欄
合併市町村の地方債を引き継いだことにより地方債現在高が増加した影響で、地方債の元利償還金が増加し、公債費に係る経常収支比率は類似団体平均を10ポイントと大幅に上回っており、公債費の負担は非常に重いものとなっている。公債費の比率は、H27になると見込まれる。また、普通交付税の合併算定替えの加算額がH27以降5年間で段階的に引き下げられることにより、非常に厳しい財政運営となることが予測される。そこで第2期行政改革推進プランの柱として投資的経費を抑制することにより、H26末の市債残高を21年度末から100億円削減する(※臨時財政対策債、減税補填債等の普通建設事業以外に係る市債を除く)ことを基本的な方針と定め、地方債の新規発行の伴う普通建設事業を抑制することとしている。



類似団体内順位 6/195 全国平均 71.3 大分県平均 69.2

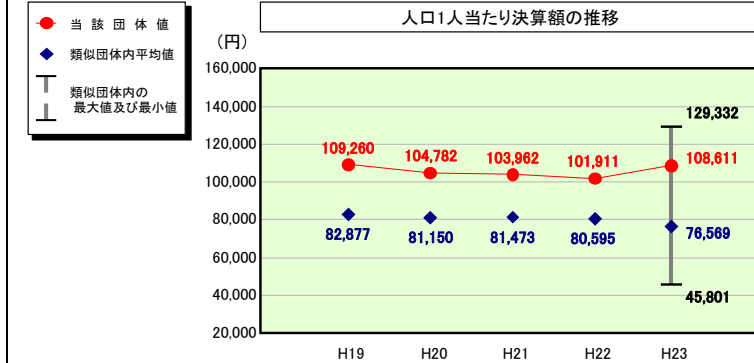
公債費以外の分析欄
公債費以外に係る経常収支比率は、類似団体平均を下回っている。扶助費、物件費、補助費等、その他は類似団体平均以下であるが、人件費は、類似団体と比べて高い水準となっている。高齢化による扶助費の増加、人口減少及び合併算定の加算額の段階的な引き下げによる普通交付税の減少等の要因により将来的に経常収支比率の悪化が懸念される。今後は、第2期行政改革推進プランに掲げている、定員管理、給与の適正化等の総人件費の抑制、組織機構の見直しによる経費削減、補助金等の見直し、市税等の自主財源の確保等の基本方針を着実に実行し、財政の健全化に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

大分県佐伯市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



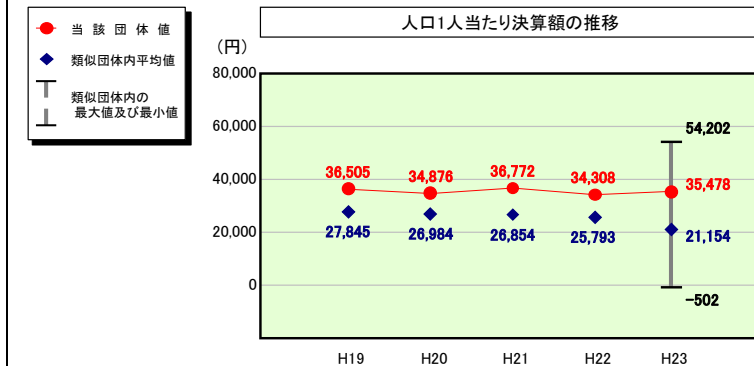
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額		人口1人当たり決算額	
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	8,450,129	107,793	69,188	55.8
賃金(物件費)	409,644	5,226	4,522	15.6
一部事務組合負担金(補助費等)	1,809	23	5,753	▲99.6
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	4,293	55	926	▲94.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	3	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	344,483	4,394	3,026	45.2
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	80,680	1,029	1,451	▲29.1
▲退職金	▲776,821	▲9,909	▲8,301	19.4
合計	8,514,217	108,611	76,569	41.8

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	11.26	7.37	3.89
ラスパイレス指数	107.7	106.0	1.7

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

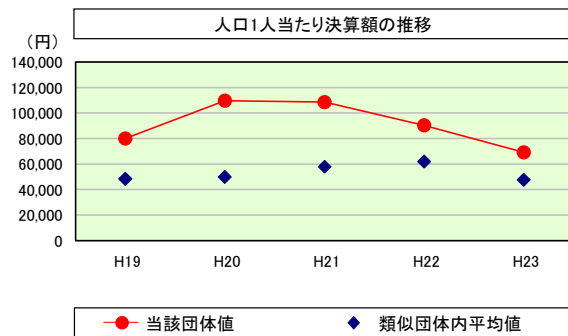


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額		人口1人当たり決算額	
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	8,207,607	104,700	44,862	133.4
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	16	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	44	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1,239,231	15,808	12,261	28.9
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	2,838	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	-	-	1,470	-
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	25	0	15	▲100.0
▲特定財源の額	▲386,823	▲4,934	▲5,472	▲9.8
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲6,278,815	▲80,095	▲34,880	129.6
合計	2,781,225	35,478	21,154	67.7

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

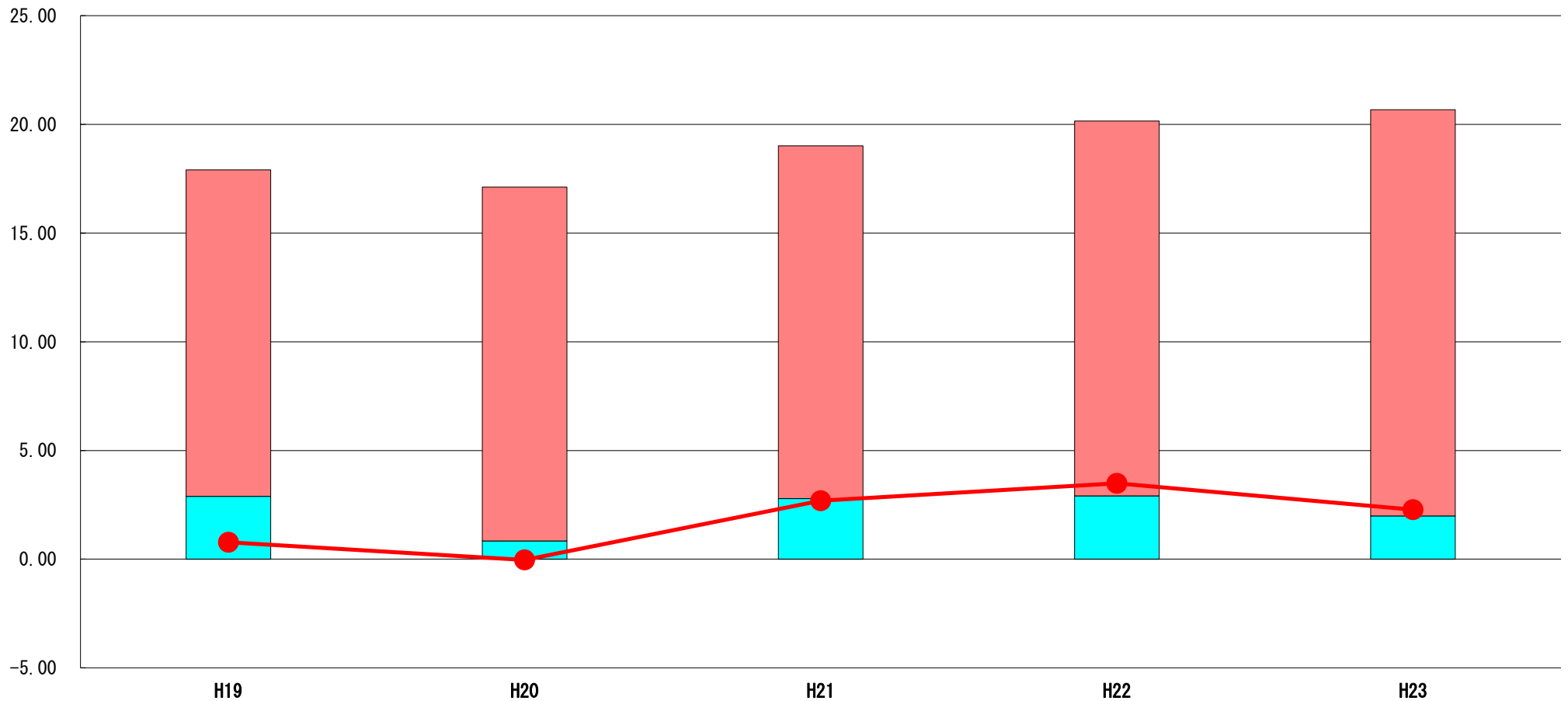
	当該団体決算額		人口1人当たり決算額			
	(千円)	当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H19	6,537,940	80,015	▲29.3	48,408	▲7.7	▲21.6
うち単独分	2,977,454	36,440	▲6.9	26,937	▲11.7	4.8
H20	8,861,186	109,695	37.1	49,774	2.8	34.3
うち単独分	3,518,625	43,558	19.5	26,739	▲0.7	20.2
H21	8,704,969	108,495	▲1.1	58,009	16.5	▲17.6
うち単独分	4,818,491	60,055	37.9	32,190	20.4	17.5
H22	7,160,504	90,355	▲16.7	61,882	6.7	▲23.4
うち単独分	3,661,331	46,200	▲23.1	32,175	0.0	▲23.1
H23	5,421,657	69,161	▲23.5	47,569	▲23.1	▲0.4
うち単独分	2,689,780	34,312	▲25.7	26,255	▲18.4	▲7.3
過去5年間平均	7,337,251	91,544	▲6.7	53,128	▲1.0	▲5.7
うち単独分	3,533,136	44,113	0.3	28,859	▲2.1	2.4

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成23年度

大分県佐伯市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H19	H20	H21	H22	H23
 財政調整基金残高		15.01	16.27	16.22	17.24	18.68
 実質収支額		2.89	0.84	2.79	2.91	1.99
 実質単年度収支		0.78	▲ 0.03	2.69	3.49	2.28

分析欄

財政調整基金残高については、基金を取り崩していないため、H19から増加している。実質収支額及び実質単年度収支については、H20が他の年度と比較して大幅に低下しているが、これは普通建設事業が大幅に増加し、実質収支額が減少したことによるものである。

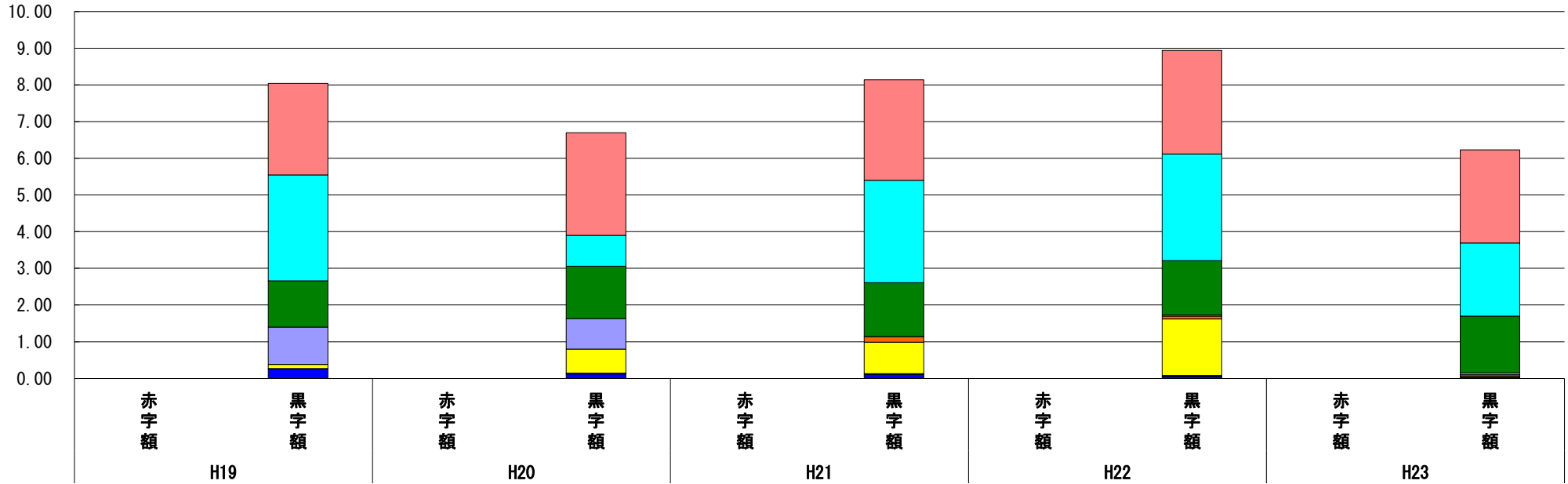
今後は、行財政改革推進プランに沿った投資的経費の抑制、定員管理、給与の適正化、組織機構の見直し等の歳出の削減を行い、また、市税の徴収強化等を中心とした歳入確保に努め財政の健全化を図る。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成23年度

大分県佐伯市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H19	H20	H21	H22	H23
水道事業会計		2.49	2.80	2.74	2.82	2.54
一般会計		2.89	0.84	2.79	2.91	1.99
公共下水道事業会計		1.26	1.43	1.47	1.48	1.55
介護保険事業会計（保険事業勘定）		1.02	0.83	0.01	0.03	0.05
簡易水道事業会計		0.00	0.00	0.14	0.08	0.04
国民健康保険事業会計（事業勘定）		0.11	0.66	0.86	1.54	0.03
市場事業会計		0.01	0.01	0.01	0.01	0.02
後期高齢者医療事業会計		-	0.01	0.01	0.01	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.26	0.12	0.11	0.06	0.00

分析欄

一般会計及びその他のすべての会計で赤字は生じていない。今後も適正な財政運営、企業経営に努める。

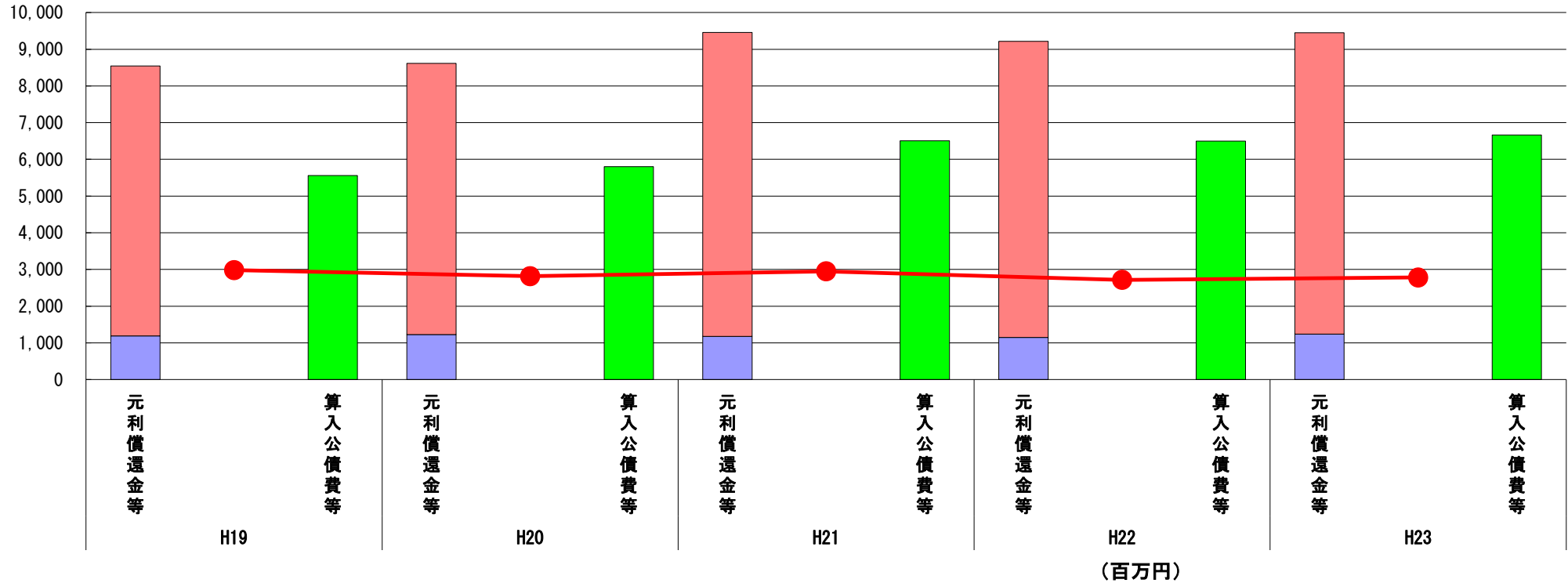
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

大分県佐伯市

(百万円)



分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等 (A)	元利償還金		7,352	7,390	8,280	8,069	8,208
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,191	1,227	1,176	1,146	1,239
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利子		0	0	1	0	0
算入公債費等 (B)	算入公債費等		5,561	5,800	6,506	6,497	6,666
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		2,982	2,817	2,951	2,718	2,781

分析欄

元利償還金については、合併後に発行した合併特例事業債の償還の開始によりH21から大幅に増加している。公営企業債の元利償還金に対する繰入金については、主に下水道事業特別会計によるもので概ね横ばいで推移している。

実質公債費比率の分子については、元利償還金は増加しているが、算入公債費等も増加し、微増で推移している。今後は、元利償還金のピークがH27と見込まれていることから、第2期行財政改革推進プラン（H26末の市債残高をH21末から100億円削減する）に基づき、地方債の新規発行を抑制及び繰上償還を積極的に行い、元利償還金の抑制に努める。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

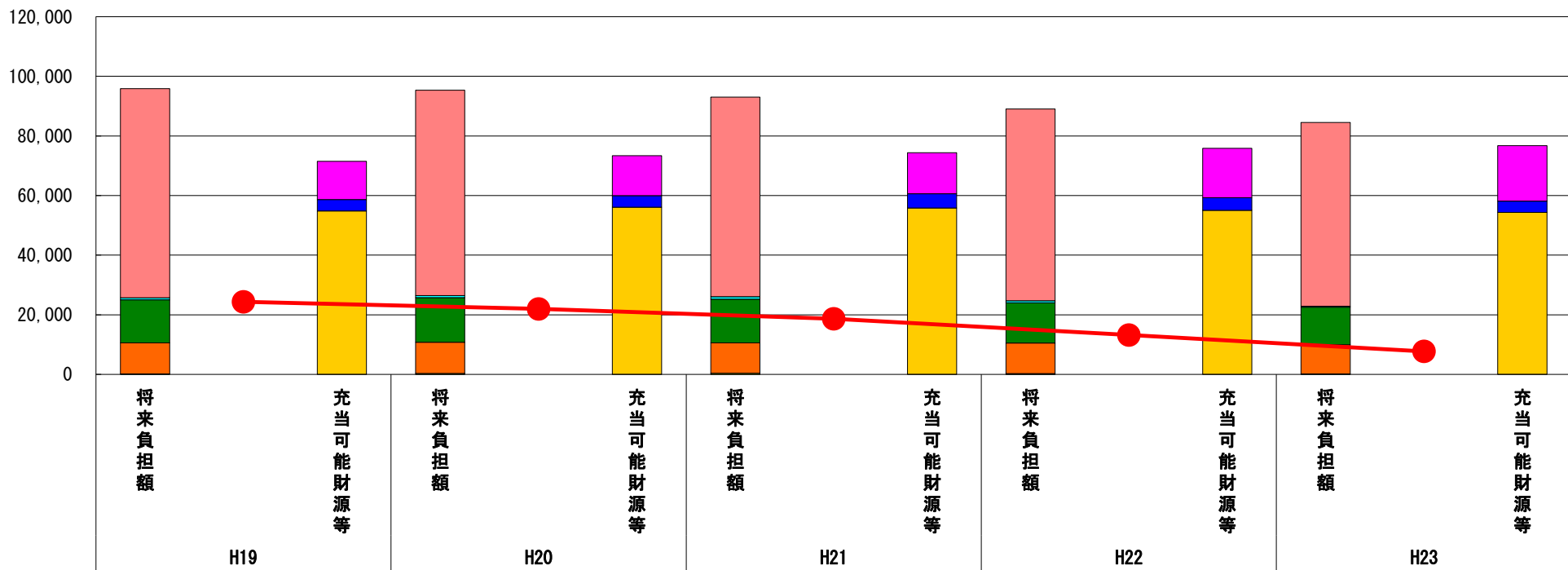
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

大分県佐伯市

(百万円)



分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		70,101	68,880	66,927	64,312	61,600
	債務負担行為に基づく支出予定額		691	697	831	704	347
	公営企業債等繰入見込額		14,441	14,978	14,663	13,474	12,592
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		10,443	10,442	10,186	10,269	9,763
	設立法人等の負債額等負担見込額		163	336	400	277	199
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		12,830	13,403	13,722	16,540	18,623
	充当可能特定歳入		3,854	3,898	4,830	4,255	3,762
	基準財政需要額算入見込額		54,808	56,071	55,793	55,035	54,370
(A) - (B)	将来負担比率の分子		24,347	21,960	18,660	13,207	7,746

分析欄

一般会計等に係る地方債の現在高については、市債の新規発行の抑制及び繰上償還の実施(H23 517百万円実施)等により減少している。

公営企業債等繰入見込額については、下水道事業特別会計の影響が大きいが起債の発行を抑制する等しており、減少傾向となっている。

退職手当負担見込額については、概ね横ばいで推移している。

充当可能基金については、財政調整基金及び減債基金の増加により、H19以降増加している。

将来負担比率の分子については、地方債現在高が年々減少し、充当可能基金が増加しているため、減少傾向となっている。

今後は、第2期行財政改革推進プランに掲げているH26末の市債残高をH21末から100億円削減することを基本方針とし、地方債の削減に努める。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。